

# 【投網調査のお知らせ】

**8月31日(水)・9月1日(木)**

**投網調査を実施します。**

**下記記載の投網禁止区域でも実施いたします。**

**なお、9月下旬、10月及び11月にも予定しています。**

**『漁期を延ばしたい、良い種苗を放流したい』**

**その思いから、鮎釣りを楽しんでいただけるよう、**

**研究所と計画した大事な調査になります。(来年まで実施予定)**

**ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご了承をお願い申し上げます。**

**また、天候等で、日程がずれる場合があります。**

**養老川漁業協同組合 千葉県内水面水産研究所**

## 令和4年度調査計画書

### 1 利用実態調査

#### (1) 目的

解禁期間（6～9月）の釣り及び投網によるアユの採捕数を把握する。

#### (2) 方法

養老川漁協から、アユ採捕情報を表1のとおり収集する。組合員については採捕実数を把握し、遊漁者は以下の式から推定する。

$$\text{採捕数} = 1 \text{人} \times 1 \text{日} \text{当たりの採捕数の平均(尾/人日)} \times \text{平均採捕日数(日)} \times \text{採捕人数(人)}$$

表1 採捕情報の収集方法

	釣り	投網
組合員	採捕日記に日毎の採捕数・場所を記帳	同左
遊漁者	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁協から、おとりアユの販売人数を聞き取り。</li> <li>おとり販売時にアンケートを配付。採捕数・場所を記録後、組合に設置したポストに投函。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁協から、遊漁券の販売枚数を聞き取り。</li> <li>遊漁券販売時にアンケートを配付。採捕数・場所を記録後、組合に設置したポストに投函。</li> </ul>

### 2 分布及び残存状況調査

#### (1) 目的

アユの分布状況を把握するとともに、禁漁期初日（10月1日）における残存尾数を推定する。

#### (2) 方法

##### ①分布状況調査

6月下旬、8月上旬、8月下旬、9月下旬、10月下旬及び11月下旬の6回、表2及び図1に示した9地点で投網による採捕調査を実施する。

##### ②残存状況調査

[DeLury法による推定]

「①分布状況調査」のうち、6月下旬、8月上旬、8月下旬及び9月下旬の4回の調査結果を用い、投網1投当たりの採捕数の減少傾向と「1 利用実態調査」で算出した6～9月の採捕数から残存尾数を推定する。

[区画法による推定]

「①分布状況調査」のうち、9月下旬の投網採捕結果からアユ採捕密度を求め、河床面積（表2）を乗じて残存尾数を推定する。

表2 調査点

調査点	区間	河床面積 (㎡)
栗又の滝	栗又の滝～水月寺	21,829
共栄橋、夕木川合流部	水月寺～芋原川合流部	110,925
宝衛橋、田淵、持田崎橋	芋原川合流部～日竹砂防ダム	152,160
日竹砂防ダム下流部、竹山	日竹砂防ダム～小山橋下流部	19,757
待場橋	小山橋下流部～待場橋	24,061

図1 調査点

